

● 遮熱顔料帯電抑制デッキの色調

遮熱顔料帯電抑制デッキの色調は、帯電抑制デッキの近似色になります。

必ず色見本をご確認ください。 また、WH色はもともと温度が上がりにくいので、遮熱顔料タイプはありません。

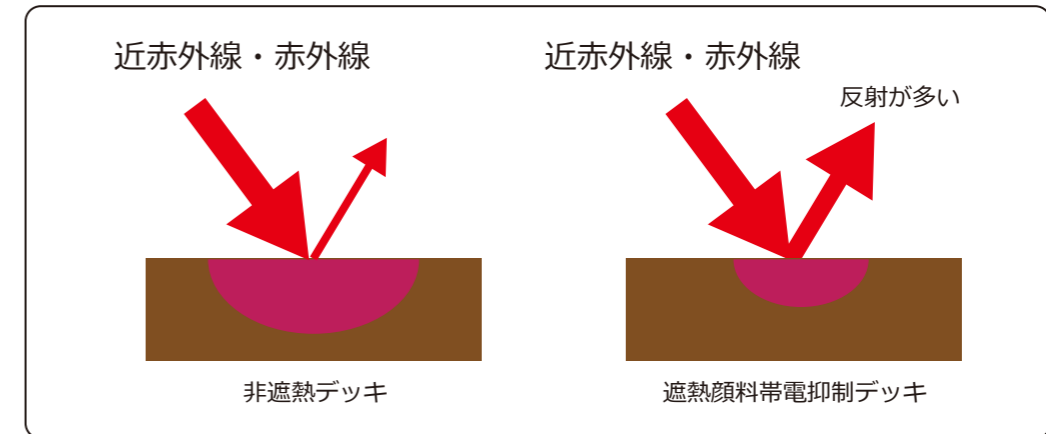


プラスウッドデッキND遮熱顔料帯電抑制デッキ

プラスウッドデッキ ND の帯電抑制デッキに遮熱性能をプラスしました。

● 遮熱のメカニズム

太陽光の近赤外線や赤外線の反射率が高い顔料を素材に混合することで、デッキ材温度の上昇を低減します。



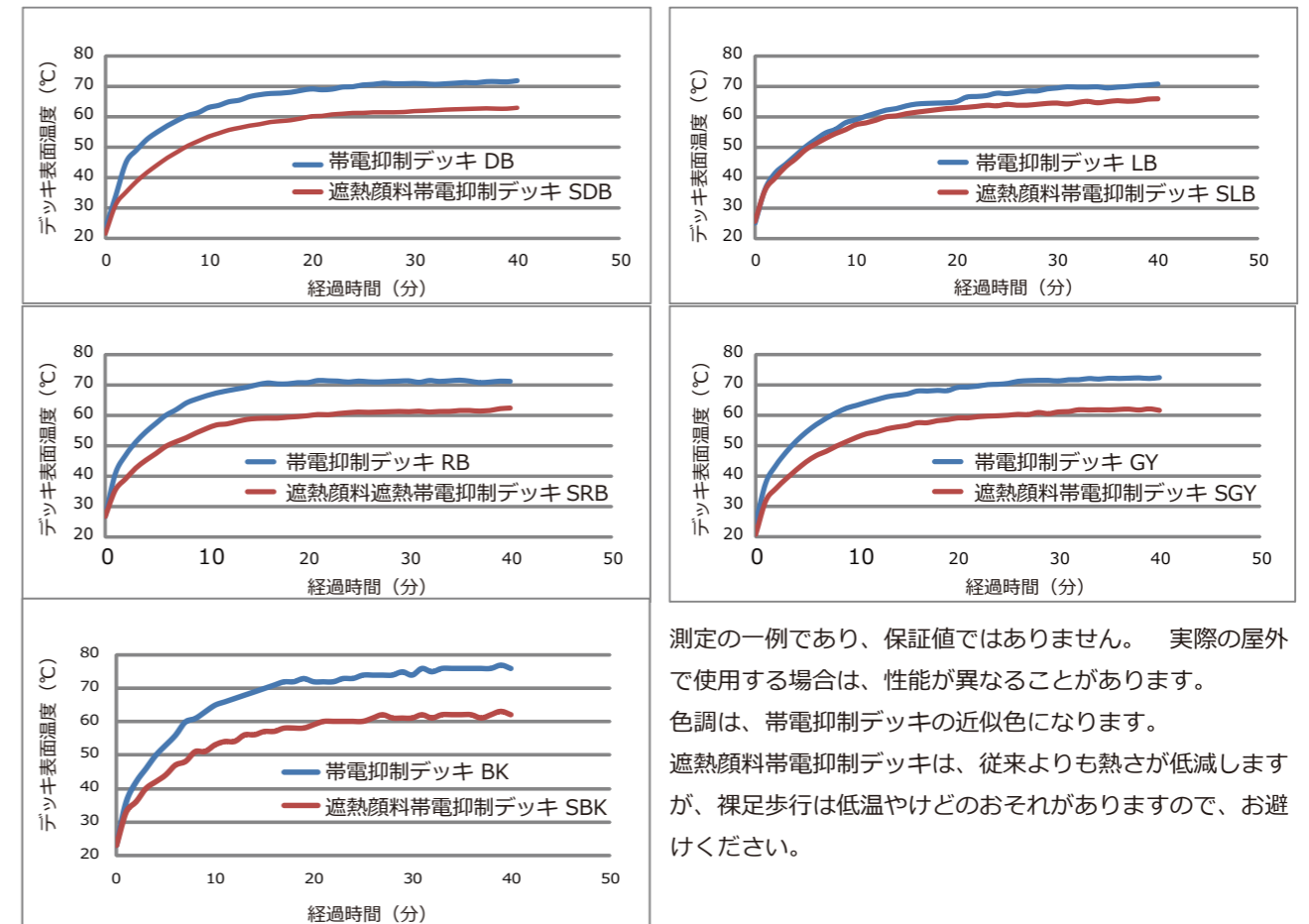
● 遮熱性能

遮熱顔料帯電抑制デッキは、下記のように帯電抑制デッキに比べて5～15℃の温度低減効果が認められます。

試験方法：ASTM D4803-97 に準じて赤外線ランプ照射試験を実施しました。

試験条件：赤外線ランプ 100V250W の白色赤外線ランプを40分照射。

赤外線ランプからの距離 375mm±25mm



測定の一例であり、保証値ではありません。 実際の屋外で使用する場合は、性能が異なることがあります。色調は、帯電抑制デッキの近似色になります。遮熱顔料帯電抑制デッキは、従来よりも熱さが低減しますが、裸足歩行は低温やけどのおそれがありますので、お避けください。

製造発売元



本社
〒918-8585 福井県福井市三十八社町 33 の 66
工場
本社・坂井・三方(福井)・盛岡・タイ国・ベトナム・USA

<https://www.fukuvi.co.jp>
<https://www.pluswood.jp>

■帯電のメカニズムと放電

帯電は、デッキ材上を人が歩行すると、靴とデッキ材の間の摩擦や剥離によって、人とデッキ材に反対の電位の静電気が発生します。デッキ材の静電気が流れにくい場合は、静電気が体にたまっていき、耐電電位が高くなります。一般に帯電電位が3kVを超えた状態で、金属製の手すりやドアに触れると放電現象が起こり、手にビリッと痛みを感じ始めます。



■帯電性能

帯電のしにくさを表す指標として、表面抵抗率があります。数値が小さいほど帯電しにくいことをあらわし、遮熱顔料帯電抑制タイプは非帯電抑制デッキに比べて帯電しにくくなっています。

試験方法：JIS K6911「熱硬化性樹脂試験方法」 5.13 抵抗率
印加電圧：500V 印加時間：60秒 20℃65%RH環境で測定

	遮熱顔料 帯電抑制デッキ	非帯電抑制デッキ
表面抵抗率 (Ω)	2.3×10 ¹²	9.6×10 ¹⁴

※記載のデータは、測定の一例であり、保証値ではありません。
静電気の感じ方は人によって異なることがあります。
また、経時で木粉が吸水し、徐々に表面抵抗は低下します。

表面抵抗率と帯電のしにくさ目安	
表面抵抗率 (Ω)	人体帯電電位の大きさ (kV)
10 ¹⁴ 以上	大きい (10以上)
10 ¹² -10 ¹⁴	普通 (1-10)
10 ¹⁰ -10 ¹²	小さい (0.1-1)
10 ¹⁰ 以下	ほとんどなし (0.1以下)

労働産業省 安全研究所 産業安全研究所
技術指針 静電気安全指針より抜粋

■遮熱顔料帯電抑制デッキの帯電しにくさ・・・デッキ上歩行時帯電電位

デッキ上歩行時の人体への帯電電位を測定し、実使用時の帯電しにくさを確認しました。
試験方法：ESチェッカー（帯電電位計）を手に持ち、施工されたデッキ上を60m歩行し、停止した時点の人体への帯電電位を測定（フクビ法）



	遮熱顔料帯電抑制デッキ	非帯電抑制デッキ
人体帯電電位	0kV	10kV以上

※記載のデータは、測定の一例であり、保証値ではありません。

◆遮熱顔料帯電抑制デッキの一般物性（JIS A5741）

試験項目		単位	測定値	基準	備考	
比重	表層+基材	—	1.31	0.5-1.5	JIS K7112 A法 準用	
曲げ特性	曲げ応力	23℃	MPa	44.5	20以上	JIS K7171 準用 表層+基材切出し
	曲げ弾性率		MPa	3270	—	
耐候試験後の曲げ特性	曲げ応力	23℃	MPa	44.3	—	JIS K7171 準用 耐候性試験 500時間後に実施
	変化率		%	0	-30以内	
	曲げ弾性率		MPa	3180	—	
	変化率		%	-3	—	
荷重たわみ温度	表層+基材	℃	101	70以上	JIS K7191(A法) 準用	
吸水特性	吸水率	%	0.52	10以下	JIS A5905 準用	
	長さ変化率	%	0.00	3以下		
デッキ材 実大3点曲げ	最大荷重	N	4900	—	支持スパン 430mm	
	最大変位	mm	13	—		
燃焼性	燃焼時間	秒	15	—	JIS K6911 準用 燃焼距離、燃焼時間が一定基準以下の場合に自己消火性または不燃性と判断しますが、建築基準法上の不燃ではありません。	
	燃焼距離	mm	15	—		
	判定	—	不燃性	—		

※記載のデータは、測定の一例であり、保証値ではありません。

◆遮熱顔料帯電抑制デッキの耐候性

促進試験条件
試験機：ダイブラ・ウィンテス製メタルウェザー KW-R5TP-A
フィルター：KF-1フィルター（透過波長域：295～780nm）
運転モード：照射→結露=4h/4h
UV放射照度：110mW/cm²(UVP365-03型照度計)
照射条件：ブラックパネル60℃・50%RH
結露条件：ブラックパネル30℃・98%RH
シャワー：結露前後30秒
試験サイクル：4,8,12,20,40,80,120

